

平成30（2018）年度～令和4（2022）年度	
第1章	鶴見区地域保健福祉ヴィジョンの策定にあたって
	1 策定の背景 2 「鶴見区地域保健福祉ヴィジョン」の位置づけ 3 「鶴見区地域保健福祉ヴィジョン」の改定等
第2章	「鶴見区地域保健福祉ヴィジョン」の基本的な考え方
	1 将来像 地域に住むすべての人が共に支え合い健康に安心して暮らす、子育てできるまちづくりの推進
	2 基本目標
	1 みんなで支え合う地域づくり
	2 総合的な相談支援体制の充実
	3 権利擁護の推進
	4 地域福祉の担い手の育成
	5 いきいきと暮らすための健康づくり
第3章	鶴見区の地域特性と地域保健福祉の現状・課題
	1 鶴見区の地域特性 2 現状と課題
第4章	「鶴見区地域保健福祉ヴィジョン」の具体的な取組み
	基本目標
	1 みんなで支え合う地域づくり
	2 総合的な相談支援体制の充実
	3 権利擁護の推進
	4 地域福祉の担い手の育成
	5 いきいきと暮らすための健康づくり
第5章	「鶴見区地域保健福祉ヴィジョン」の実現のために



- ①変更
- ②移動・変更
- ③変更
- ④新規
- ⑥変更
- ⑦新規
- ⑧新規

令和5（2023）年度～令和9（2027）年度	
第1章	「鶴見区地域保健福祉ビジョン」の策定にあたって
	1 策定の背景 2 「鶴見区地域保健福祉ビジョン」の位置づけ 3 「鶴見区地域保健福祉ビジョン」の計画期間等
第2章	鶴見区の地域特性と地域保健福祉の5年間の振り返り
	1 鶴見区の地域特性 2 地域保健福祉の5年間の振り返り (1) みんなで支え合う地域づくり (2) 総合的な相談支援体制の充実 (3) 権利擁護の推進 (4) 地域福祉の担い手の育成 (5) いきいきと暮らすための健康づくり
第3章	「鶴見区地域福祉ビジョン」の基本的な考え方
	1 基本理念 だれもが自分らしく安心して共に暮らし続けられるまちづくり
	2 基本理念の考え方 (1) 人権尊重の視点 (2) 住民主体の地域づくりの視点 (3) ソーシャルインクルージョンの視点 (4) 福祉コミュニティ形成の視点 (5) 多様な主体の協働（マルチパートナーシップ）の視点
	3 前計画からの変遷
	4 計画の基本目標
	1 気にかける・つながる・支え合う地域づくり
	2 だれでも、いつでも、なんでも言える相談支援体制づくり
	5 計画の体系 ・理念 ・基本目標 ・施策の方向性
第4章	「鶴見区地域保健福祉ビジョン」の施策の方向性と具体的な取組み
	基本目標1 気にかける・つながる・支え合う地域づくり
	基本目標2 だれでも、いつでも、なんでも言える相談支援体制づくり
	施策の方向性・課題
	施策の方向性1 住民主体の地域課題の解決力強化
	課題 ア 地域での支え合い、助け合いの意識づくりと活動への参加促進 イ 住民が主体的に地域課題を把握し解決できる体制づくり ウ 専門職による地域福祉活動への支援
	施策の方向性2 地域福祉活動への多様な主体の参画と協働の推進
	課題 ア 多様な主体の参画と協働 イ 社会資源の有効活用
	施策の方向性3 災害時等における要援護者への支援
	課題 ア 災害時における要援護者への支援 イ 災害時に備えた地域におけるつながりづくり
	施策の方向性1 相談支援体制の充実
	課題 ア 複合的な課題等を抱えた人への支援 ① 生活困窮者自立そう支援制度との連携 ② こどもの貧困対策との連携 イ 相談支援体制を支える人材の育成・確保 ウ 社会参加に向けた支援
	施策の方向性2 地域における見守り活動の充実
	課題 ア 見守り活動の活発化による地域住民の見える関係づくり
	施策の方向性3 権利擁護支援体制の強化
	課題 ア 虐待防止の取組みの推進 イ 成年後見制度の利用促進
	＜方向性に基づく具体的取組みの実施＞
	成果目標 災害時に限らず日常生活の中で、住民同士のつながり、支え合いが行われていると感じる区民の割合：40%以上
	成果目標 地域で支援を必要としている人に必要な支援が行き届く地域社会になっていると感じる区民の割合：40%以上
第5章	「鶴見区地域保健福祉ビジョン」の実現のために